

新築だより vol.31

富山県創業支援施設・UJターン者等向け住居(仮称)

「SCOP」が完成しました



▲富山県富山市蓮町の旧県職員住宅が、創業支援施設・UJターン者等向け住居として新しく生まれ変わりました
当社は2号棟と4号棟を施工させていただきました

この施設は、「2017建築甲子園」で優勝した富山工業高校生のリノベーションプランを活かし、全国でも例のない職住一体の拠点として整備するもので、多くのヒト・モノ・コトが交流する地域のコミュニティ創出と活性化の拠点となることを目的とした建物です。

SCOP
TOYAMA

富山県創業支援センター
Toyama Prefectural
Business Creation Support Center

▲ロゴマーク



▲施工前



▲施工後

私は令和3年3月11日～令和4年5月31日まで公共事業富山県UJターン者等住居整備の2号棟と4号棟の工事に携わらせていただきました。構造はRC造で共同住宅一部寄宿舎の改修工事です。既存配線の再利用は出来ません。新たな配線は床下配線、残りは全て露出配管です。RC造ですので配管はコア抜きが必要です。最初に仲建築設計スタジオ様に図面提出を行い承認をいただき、それから現場調査・墨だし・鉄筋調査を行い、TS構造設計様にも再度承認をいただきコア抜きを行う工程でした。仲建築設計スタジオ様からは使い易さ・デザイン性の要望が高く、私自身その要望を理解するのにかなりの時間を必要としました。工事の終盤にはようやく要求されている内容が理解できるようになり私自身本当に勉強になりました。その反面、他の業務が疎かになってしまいました。反省点の多い現場でしたが、この現場での経験は今後の電気工事の施工において大きな自信になると思います。関係者各位には大変感謝しております。今後ともご指導賜りますよう、宜しくお願いいたします。

(工事部施工管理課・吉田)

私は施工前の段階で現場確認をいたしましたが、この改修工事は施工的にかなり難しいとの印象を受けました。完成時には新築と変わらない別の建物になっていました。吉田君は施工面で非常に苦労したと思います。「出来たこと、出来なかったこと」沢山あったと思います。失敗例は特にですがうまくいったこともどんなプロセスをもって、うまくいったのか振り返り、糧にしていってくださることを望んでいます。今後もこの現場で培った経験や知識を活かして頑張ってください。関係者各位には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(工事部施工管理課・藤川)

第30回資質向上研修会 「はた楽おとなの「段取り改善術」」

～効率を3倍よくする新しい3S～

5月21日（土）に富山産業展示館の大会議室にて、資質向上研修会を開催しました。今回も当社社員と協力業者である新友会メンバーの方にご参加いただき、株式会社エナジーソースの宮脇 春男様に「はた楽おとなの「段取り改善術」」というテーマでご講演いただきました。今回の研修では、働き方改革を推進していく中で課題である「業務改善」や「生産性の向上（仕事の効率化）」を先入観や固定観念から脱却し、意識改革により進めることが大事であることをグループディスカッションを通して学びました。

仕事の効率を向上させるには

- ①時間の意味を理解し、バランスをとること
- ②判断基準は、あなたの意図・目的にある
- ③意図があれば、時間は自分自身で創り出せるもの

仕事の効率を向上させるとコストの削減や人手不足への対応、また、ワークライフバランスの改善など良いことが沢山あります。仕事を進めるにあたって、私生活においても、とても大事なテーマだと思います。今年は年間を通して「段取り改善術」を学びます。次回もしっかりと学び今後の業務に活かしていきたいです。



▲グループディスカッションの様子
相手の意見を聞くときは、必ず頷く
相手の発表が終わったときは、必ず拍手をする

1+1=3倍
ひとりで考えるより、周りと考える
ひとりで抱え込むより、だれかと分かち合う
ひとりで楽しむより、みんなで楽しむ

（総務部総務課・酒井）

婦中支店のまつぼっくりです▶
コウヤマキの実



安全大会

今年度スローガン 「お互いに気遣い、思いやりの心をもって 声を掛けよう ゼロ災職場」

7月2日（土）に令和4年度安全大会を社員・協力会社出席のもと、開催いたしました。7月1日～7月7日まで展開された全国安全週間は、労働災害の減少を図るために自主的な活動の推進と安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として実施されており、当社でも毎年この時期に合わせて安全大会を開催しております。

安全大会では安全パトロールの結果発表、今年度の安全スローガン表彰の後、「睡眠力の鍛え方～良質な睡眠と事故防止について～」をテーマに一般社団法人日本快眠協会・今枝様よりご講演をいただきました。快眠体操やスーパーボールを使った足裏マッサージ（足裏快眠法）など実技も交えての講演では、睡眠の質が重要であること、良い睡眠によってストレスを解消し、健康な体が作れるということがよくわかり、大変有意義な講演会となりました。教えていただいたストレッチやマッサージを継続し良い睡眠をとり、日々安全で良い仕事ができるよう努めてまいります。

（総務部総務課・釜土）



▲ストレッチ法をみんなで実践中



▲足裏をスーパーボールでマッサージ中



スーパーボール足裏快眠法
足裏は「反射区」
そして身体の大切な「器官」です

◀婦中支店のどんぐりでです
ウラジロガシの実



富山県UIターン者等住居の施工反省会を行いました

緊急施工反省会を行いました。7月2日（土）工事部・営業企画部が全員参加しました。

問題点

吉田主任が既存調査から入り、施工計画・施工管理・材料などの品質管理を行いながら現場管理を進めていたが、一人の担当者に負担が掛かり過ぎた。竣工間際に藤川リーダーが状況確認した所、提出書類の遅れが見られ、当社スタッフが応援に入った。



▲施工反省会の様子



▲施工説明中です

いろいろな意見が出ました

原因

- ①吉田主任が早朝会議に出席し人員が足りないと応援を依頼し、途中から人員を増やしたが、自分が手掛けている図面は任せることが出来なかった。
- ②応援依頼のタイミングが遅すぎたのでは？
- ③社内検査・安全パトロールで、検査員はチェックリストで確認していたが具体的な状況内容までは確認していなかった。検査員の熱量不足では？
- ④吉田主任が図面を書いて苦労していたが具体的な処置、対策が施されていなかった。
- ⑤抑えるポイントを理解できていなかった。

対策

- ①応援人員はその期間の応援だけではない。最後まで手掛けたことは責任を持つこと。フォローが必要と判断したら会社に報告すること。
- ②社内検査・安全パトロールの検査員は大丈夫か？の言葉ではなく、これはどうなっているかと、具体的に確認すること。
- ③早い時期にSOSを出す。（忙しすぎるとタイミングを逃してしまいがち）
- ④施工の進め方はサブリーダー・リーダーに相談する。
- ⑤サブリーダー・リーダーは定期的に現場状況を確認する。
- ⑥すべきことをメモ書きし、常に見える化する。
- ⑦早朝会議に出席し状況報告する。
- ⑧図面の応援必要性の返事が無ければ再度確認する。
- ⑨話しやすい、聞きやすい環境が必要。（仲間同士の思いやりと気づきが必要）

※早朝会議は、毎週水曜日朝7時から各部の担当者が各自の進捗状況や問題を報告し、話合う最も重要な会議です。

（工事部施工管理課・上沢）

毎週月曜日の全体朝礼にて 10月3日のひと言

私は今、大沢野の大沢野地域公共施設複合化事業の現場に中川サブリーダーと一緒に現場常駐しています。設計担当者様との打合せ時に施主がどのようにしたいのか？施主の気持ちがわかるようになってきました。今年5月までの富山県UIターン者等住居整備工事の設計様との打合せは私にとって良い経験になりました。

（工事部施工管理課・吉田）

吉田主任にとって富山県UIターン者等住居整備工事の経験は誰もか経験できないような困難な現場でした。この中での上手く出来たこと、出来なかったことがありますがこの現場での反省点については今後の改善策として自身の成長のために、しっかりと取組んでいただきたいと思います。良い経験をされたと思います。

（常務取締役・小西）

クレーム報告

2021年12月～2022年7月

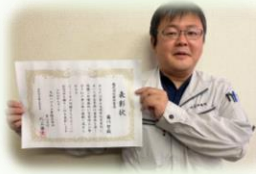
- ・他業者との打合せ不足 4件
- ・機器試運転の未確認 2件
- ・施工体制の引継ぎが遅れた 1件
- ・メンテナンスの対応の遅れ 6件
- ・コンセントから冷気が出る 1件
- ・車での運転中のヒヤリハット 1件
- ・書類の処理の遅れ 5件

各々のクレームは、細かい連絡や確認を怠ったことで起きた問題です。思いやりと気遣いをもち、ひとつひとつ丁寧に仕事をする心を掛けます。ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

（工事部施工管理課・上沢）

近況報告

安全表彰を受賞しました



大和ハウス工業様より
富山市五福学生寮の現場で
藤川リーダーが表彰されました



竹中工務店様より
富士製菓工業の現場で
谷内主任が表彰されました

この度、このような賞をいただき
ありがとうございました。
今後も一層頑張りますので
どうぞ宜しくお願いいたします。

(工事部施工管理課・藤川・谷内)

2022年9月1日より、ホームページをリニューアルいたしました

新栄電設には愛がある



今回のリニューアルに伴い、制作メンバーには若手の3人にも参加してもらい、老若男女問わずいろんな意見を出してもらい、どのようにしたら当社の「思い」「考え」「特長」などがホームページを通して皆様にお伝えできるのか、打ち合わせを重ねる中で意見を絞り、決定していきました。まず、一番悩み、時間をかけたのが、ホームページの「顔」ともいえるTOPページの「キャッチコピー」や「デザイン」決定です。「キャッチコピー」に関しては、社員全員に意見を出してもらい、その中から一番当社をイメージし、社員にも馴染みのある言葉が入り、しっくりとくるキャッチコピーを選びました。また、「デザイン」に関しては、イラストを挿入したり、円を使ったりして、当社のアットホームな雰囲気が伝わるように工夫しました。

また、より当社を知っていただく為に、社員の写真もたくさん載せております。

ホームページ制作は、思った以上に時間がかかりましたが、皆様のご協力のもと、とても良い内容に仕上がりました。

また、ご協力いただいた制作会社や関係会社の方々にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

リニューアルした新栄電設のホームページを是非ご覧ください。

(総務部総務課・酒井)

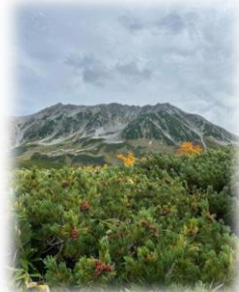
秋の写真です



▲コスモス



▲タテヤマスギ



▲室堂より
雄山・大汝山・富士ノ折立



▲室堂平のチングルマ

お客様から写真をいただきました：撮影・玉井陽子様

社長よりご挨拶

いつも新栄だよりをご高覧いただき誠にありがとうございます。今回の31号では難易度の高かった施工物件のご紹介と、その後の反省会についてご紹介させていただきました。当社ではお客様の役に立ち、喜んでいただく施工をするために施工前に検討会・施工後に反省会を実施しております。一つ一つの経験を生かすとともに、若手への技術教育の場となっています。また、定期的開催している学びの機会についてもご紹介させていただきました。今期のテーマとしている「継続」は簡単な事ではありませんが何より重要な課題として取り組み、創業の理念を継承していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(代表取締役社長・清水)